

## お手入れ

- 装置内にほこり・異物などが入らないように、定期的なまわりを掃除してください。



注意

・本装置を水洗いしないでください。

## ご不明な点や修理に関するご相談は…

- 修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、お買い上げ販売店にご相談ください。

# 車いす固定装置

## 型式 CX003 取扱説明書



このたびは車いす固定装置をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 各部のなまえ



1. フック付きワイヤー 4本
2. フック止め 4個
3. レバー

## 安全上のご注意

- 本製品は、アルミおよび鉄製の車いすを固定する装置です。
- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

### 1 記号の説明



注意

注意していただきたいこと

注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、装置が破損するおそれがあります。

### 2 注意事項



注意

- ・ 本装置を分解・改造しないでください。
- ・ フック付きワイヤーを折り曲げたり、こすったりするような使い方はしないでください。
- ・ 本装置の上で飛び跳ねたり、重い物を置いたりしないでください。
- ・ 本装置は車いす専用です。車いす以外の物は固定しないでください。

製造元

中央発條株式会社

〒470-0225 愛知県みよし市福田町宮下43番地の1  
TEL(0561)32-8161 FAX(0561)32-2302

# 操作のしかた

## 1 車いすを固定する

### ① 車いすをセットする

- 所定の位置(車いす固定装置のほぼ真上)に車いすをセットします。



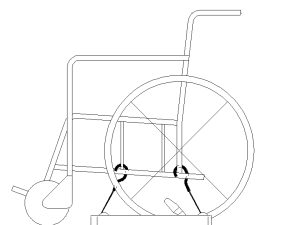
**注意**

- ・ 所定の位置以外では、車いすが完全に固定されず危険です。



### ② フック付きワイヤーを車いすに掛ける

- 4本のフック付きワイヤーをフック止めからはずし図Aのように車いすのフレームが交差したところに掛けます。
- 4本のフック付きワイヤーは、本体内蔵のばねにより巻き取られ自動的に長さが調整されます。
- 前後のワイヤーの傾きが図Aのようにほぼ均等になっていることを確認し、車いすのブレーキをかけます。

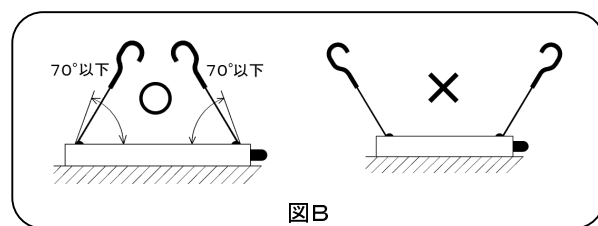


図A

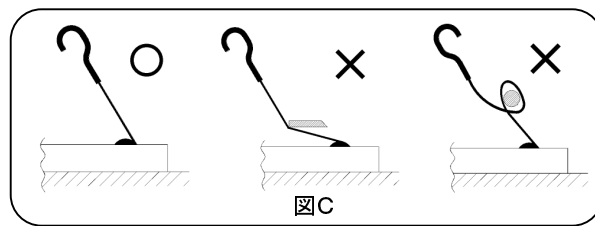


**注意**

- ・ フック付きワイヤーを引き出す方向は、図Bのように装置の側面から見た時、70°以下になるようにしてください。
- ・ フック付きワイヤーは、図Cのようにまっすぐになるように車いすに掛けてください。

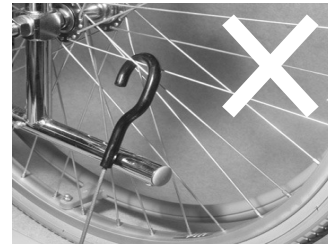


図B



図C

- ・ フック付きワイヤーを1本でも掛けていない状態、あるいは他の物に掛けた状態ではレバーが押し上げられず、装置を破損するおそれがあります。
- ・ フック付きワイヤーは、車いすのスポークなどの弱い部分には掛けないでください。スポークなどを破損するおそれがあります。



**ワンポイント**

- ・ フック付きワイヤーをフック止めからはずす時は、図Dのようにすると比較的簡単です。



(奥のフック)



図D

(手前のフック)

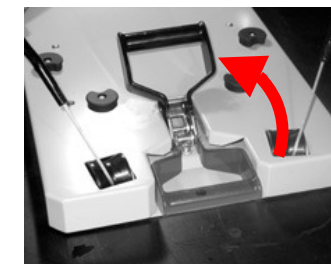
### ③ レバーを押し上げる

- レバーを完全に止まるところまで押し上げます。
- この操作でフック付きワイヤーが巻き取られます。



**注意**

- ・ レバーを途中で止めた状態では、振動などによりレバーがはずれたり、反動によりレバーが戻り危険です。



### ④ 車いすが確実に固定されているかを確認する

- 車いすをゆらし、ぐらつきなどがないことを確認します。



**ワンポイント**

- ・ 固定が緩いと感じた時は、一旦レバーを元に戻し、再びレバーを押し上げてください。

## 2 車いすの固定を解除する

### ① レバーを手前に引く

- レバーを完全に止まるところまで引きます。



**注意**

- ・ 干渉物などによりレバーが途中で止まった状態では、フック付きワイヤーのロックが解除されません。
- ・ 操作の途中でレバーから手を離さないでください。レバーが勢いよく戻り危険です。

### ② フック付きワイヤーを車いすからはずす

- 4本のフック付きワイヤーを車いすからはずします。
- フックを図Eの位置へ戻してください。本体内蔵のばねにより内部に巻き取られます。



**注意**

- ・ 操作の途中でフック付きワイヤーから手を離さないでください。フック付きワイヤーが勢いよく戻り危険です。



図E